

## ★関東アコ20周年記念企画コーナー★

### =演奏交流会こぼれ話=

# b # 交流会はこうして始まった # b #

1983年、約10団体で準備した「器楽フェスティバル」から参加地域が広がった85年の「関東アコーディオンフェスティバル」へそして全国の仲間を集めて87年の「第1回全国アコーディオンフェスティバル」。88年の「第2回全国アコーディオンフェスティバル」と続き89年に「第1回関東アコーディオン演奏交流会」が始まりました。(10周年記念誌、第7回交流会ニュースより)



■ 1985年9月16日の「関東アコーディオンフェスティバル」では、「アコフェス出演者選抜オーディション」が8月31日に音楽センターで行われ、ソロ、小アンサンブルの2部門で参加者は30名を越えました。次の方が合格しアコフェスで演奏されました。[霧島幸子「バリのお嬢さん」P. デュダン / 三浦克美「ダンツァ ディ ファンタシィ」F. フガツツァ / 添島礼子「春の声」ヨハン・シュトラウス / 大森 信「カッコウ」ダカン / 亀田直樹「モザイクエスパノール」F. フガツツァ / 三多摩アコーディオンサークル「ロシア水兵の踊り」R. グリエール]

■ 1987年11月23日、蕨市民会館ホールで開催の「第1回アコーディオンフェスティバル」では、9月6日、浦和市コミュニティーセンターで行われた選抜オーディションに独奏26名、アンサンブル12組が出場。仙台からも6名が参加、審査員は8名で特にジュニア、アンサンブル部門はフェスティバルへの出場者を絞るのに苦労されたようです。次の方々がアコフェスで演奏されました。[ジュニア: 鈴木美代] [3年以内: 稲葉由里子] [一般: 添島礼子 / 田中洋平 / 山崎 誠 / 大森 信] [アンサンブル: 音楽センター中級三多摩33期生 / ストロバヤ四重奏団 / 音楽センター北部教室], 他に関西の推薦により、吉備英司・仲村賀英子さん。

■ 1988年に立川市で「第2回アコーディオンフェスティバル」が行われました。12月4日東京都多摩教育センターホールでのことでした。この独奏、重奏、合奏に出演するための選抜オーディションが9月11日に府中市民会館小ホールで行われました。

■ そして1989年9月10日に「関東アコーディオン演奏交流会」が国分寺勤労福祉会館で行われました。これが「第1回関東アコーディオン演奏交流会」でした。

#### 《当日のスケジュール》

9:50	開会式	16:00~17:00	合奏部門 (10組)
10:00~12:30	独奏部門 {ジュニア2名、一般 無審査部門3名、審査部門19名}	17:00~17:20	交流会
13:30~14:40	重奏部門 (12組48名)	17:20~18:30	講評(審査員8名)
14:40~15:00	小アンサンブル部門 (2組6名)		このような強行スケジュールでした。



